

海岸に漂着したプラスチックごみ調査の結果について

1 調査日時

令和3年10月23日（土）8：00～16：30

2 調査地点

藤前干潟（名古屋市港区藤前2丁目）



3 調査方法

汀線（干潟の水面との境界線）方向の幅50m、汀線から堤防の傾斜地の際までを調査範囲とし、長さ2.5cm以上のごみを調査対象として漂着物を回収。漂着物のうち人工物（ごみ）は、調査表の分類ごとに個数、重量を記録する。（自然物は重量のみ記録する）

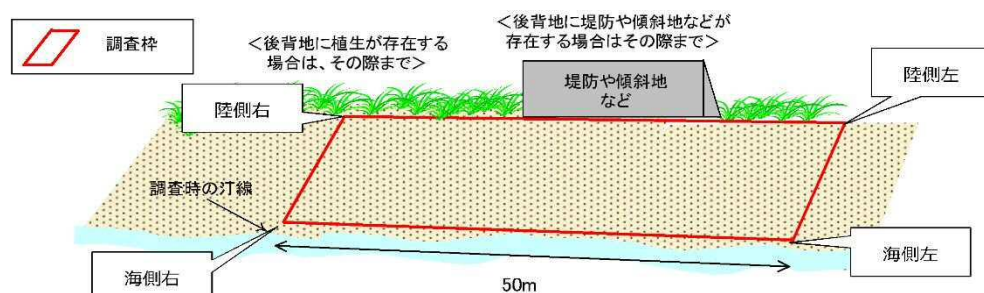


図 調査方法のイメージ図

表 分類表

大分類	細分類		具体例
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた		同左
	ボトル	ペットボトル（１ℓ未満）	飲料用ペットボトル＜１ℓ
		ペットボトル（１ℓ以上）	飲料用ペットボトル≥１ℓ
		その他プラボトル（１ℓ未満）	その他プラボトル＜１ℓ
		その他プラボトル（１ℓ以上）	その他プラボトル≥１ℓ
	ストロー		同左
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等		同左
	食品容器（ファーストフード、ランチボックス等）		同左
	ポリ袋		レジ袋、その他プラスチック袋
	ライター		同左
	シリンジ、注射器		同左
	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）		同左
	シートや袋の破片		同左
	硬質プラスチック破片		同左
	ウレタン		同左
	漁具		釣りの浮き、ルアー、釣り糸
	その他		玩具、歯ブラシ、バケツなどの 上記区分で分類できないもの
発泡スチロール	コップ、食品包装		同左
	包装材		同左
	破片		同左
	その他		上記区分で分類できないもの
ゴム	ゴム		靴、ボール、風船、破片
ガラス、陶器	ガラス、陶器		コップ、食器、破片
金属	金属		飲料缶、飲料容器のふた、破片
紙、ダンボール	紙、ダンボール		紙コップ、飲料容器、破片
天然繊維、革	天然繊維、革		衣類、ひも、破片
木（木材等）	木（木材等）		木製品、角材、破片
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器		同左
自然物	自然物		流木、灌木

4 調査結果

① 分類別の組成

- 漂着物のうち、約 16%が人工物（ごみ）で、合計 49.51kg、3,368 個の人工物（ごみ）が確認された。
- 人工物（ごみ）の大分類で見たところ、「プラスチック・発泡スチロール」が 39.00kg（78.8%）、3,231 個（95.9%）と最も多かった。

表1 2分類別の組成表

項 目	重量 (kg)	個 数
人工物（ごみ）	49.51	3,368
自然物	262.00	
合 計	311.51	3,368

※ 自然物は回収できた重量から算出した推計値

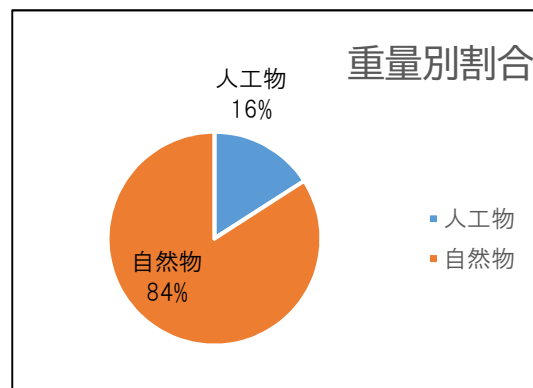
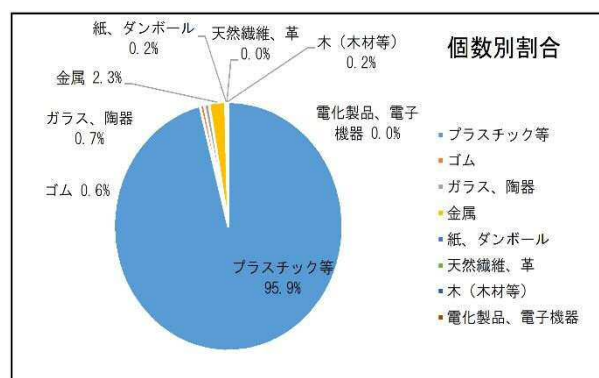
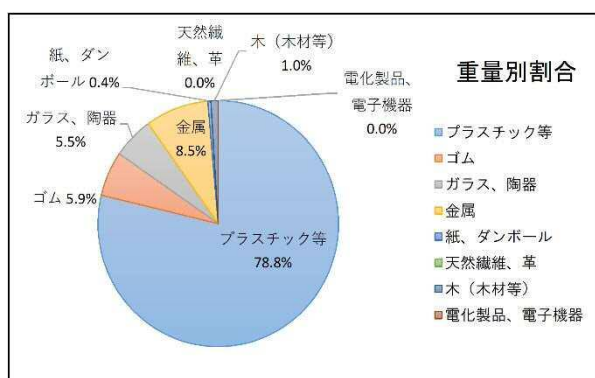


表2 人工物（ごみ）の大分類別の組成表

項 目	重量 (kg)	個 数
プラスチック・発泡スチロール	39.00	3,231
ゴム	2.90	21
ガラス、陶器	2.70	24
金属	4.20	76
紙、ダンボール	0.20	8
天然繊維、革	0.01	1
木（木材等）	0.50	7
電化製品、電子機器	0.00	0
合 計	49.51	3,368



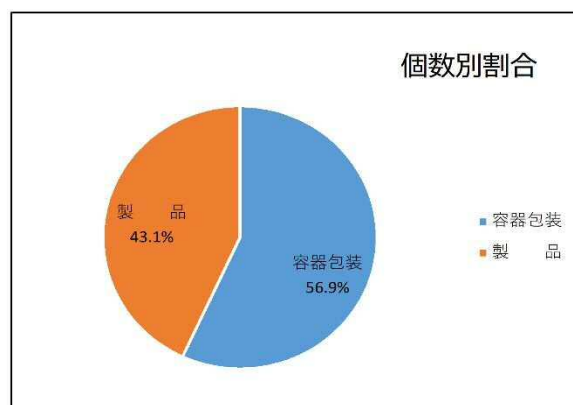
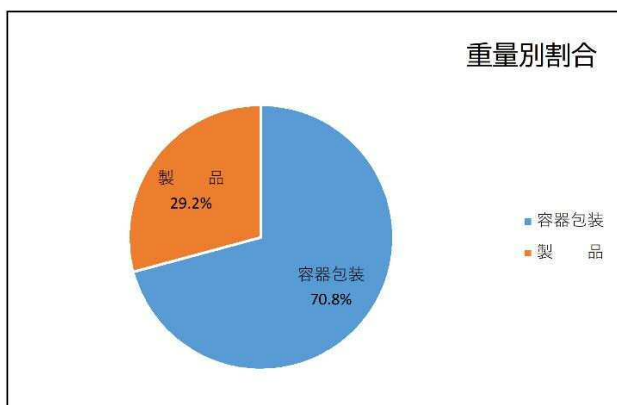
グラフ 人工物（ごみ）の大分類別の組成割合（重量別・個数別）

② プラスチック・発泡スチロールの組成

- 「プラスチック・発泡スチロール」を「容器包装」と「製品」に分類したところ、「容器包装」が27.60kg（70.8%）、1,837 個（56.9%）と多い結果となった。
- 「容器包装」を細分類別に見たところ、個数別では「ペットボトル」と「食品容器・包装」で約7割を占めていた。
- また、重量別では「ペットボトル」が20.10kg と約7割を占め最も多かった。
- ペットボトルを始めとした「容器包装」は、海外から流れてきたと思われるものではなく、国内で消費されたものばかりであった。
- 「製品」には割合は少ないが、シリンジや注射器といった廃棄物も発見された。

表3 プラスチック・発泡スチロールの分類別組成表

項 目	重量（kg）	重量（%）	個 数	個数（%）
容器包装	27.60	70.8%	1,837	56.9%
製 品	11.40	29.2%	1,394	43.1%
合 計	39.00	100.0%	3,231	100.0%



グラフ プラスチック・発泡スチロールの組成割合(重量別・個数別)

表4 容器包装の細分類別の組成表

細分類	重量（kg）	個 数
ボトルのキャップ、ふた	0.26	103
ペットボトル	20.10	585
その他プラボトル	1.49	31
食品容器・包装	2.65	697
ポリ袋	2.20	114
包装材	0.90	307
合 計	27.60	1,837

海岸漂着ごみ 調査表

調査海岸	藤前干潟（港区藤前2丁目）		
調査実施日・天候	令和3年10月23日（土）・晴		
調査時刻	8：00 ～ 16：30		
直近の清掃活動	☐ 3か月以内に実施	☒ 1年以内に実施	
台風・豪雨	☐ 1か月以内	☒ 3か月以内	

大分類	細分類	区分	個数	重量(kg)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	容器	103	0.26
	ボトル	ペットボトル（1ℓ未満）	537	17.40
		ペットボトル（1ℓ以上）	48	2.70
		その他プラボトル（1ℓ未満）	30	1.30
		その他プラボトル（1ℓ以上）	1	0.19
	ストロー	製品	63	0.05
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	1	0.01
	食品容器（ファーストフード、ランチボックス等）	容器	357	1.95
	ポリ袋	容器	114	2.20
	ライター	製品	17	0.19
	シリンジ、注射器	製品	15	0.03
	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	製品	49	0.20
	シートや袋の破片	製品	45	0.02
	硬質プラスチック破片	製品	101	0.32
	ウレタン	製品	116	1.10
	漁具	製品	5	0.03
	その他	製品	442	9.20
発泡スチロール	コップ、食品包装	容器	340	0.70
	包装材	容器	307	0.90
	破片	製品	540	0.25
	その他	製品	-	-
ゴム	ゴム		21	2.90
ガラス、陶器	ガラス、陶器		24	2.70
金属	金属		76	4.20
紙、ダンボール	紙、ダンボール		8	0.20
天然繊維、革	天然繊維、革		1	0.01
木（木材等）	木（木材等）		7	0.50
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器		-	-
自然物	自然物			262.00

5 調査状況写真

① ごみの回収状況



② ごみの組成調査状況



(プラスチック) 食品容器



(プラスチック) ウレタン



(発泡スチロール)
コップ、食品容器



(プラスチック) 硬質プラスチック破片



(プラスチック) シリンジ、注射器